

# 幡多の太陽

令和2年11月9日 第15号

## 人権参観日・防災学習講演会

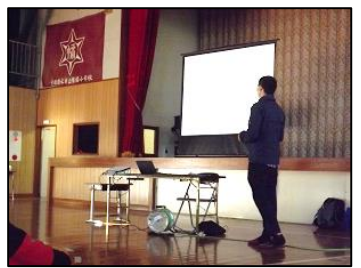


例年なら、人権参観日は、「大岐人権ふれあい収穫祭」に児童、保護者が参加する形(1日日程)をとっているのですが、コロナ感染症対策のため、今年「大岐人権ふれあい収穫祭」は中止ということが5月に決定されていました。そこで、今年の人権参観日・防災講演会は、午後からとし(半日日程)、人権に関わる参観授業の後、土佐清水ジオパーク推進協議会の今井 悟さんに来ていただき、地形図をもとに危険だと思われる場所を探し出すワークショップを中心にした講演を行っていただきました。

人権の授業では、1・2年生は、「仲間外れ(外し)」について考える授業を(上の写真)、3・4年生は、「命」について考える授業を(中の写真)、そして、5・6年生は、「いじめ」について考える授業を(下の写真)しました。児童・幼児虐待や自殺の報道が頻繁にニュースに取り上げられています。とても残念です。かけがえのない命、ずっとつないできた命です。

大切にしなければなりません。面白がってやったことが、やられた人の心や体を傷つけてしまうことがあります。相手の立場に立って振り返ってみましょう。自分が仲間外れにされた時の気持ち、てがわれたりしていじめられた時の気持ち。決してにこやかにはないと思います。いえ、それどころか腹を立てるんじゃないかな?

自分の心の中に他人をてがったりして楽しんでいる自分はいませんか?



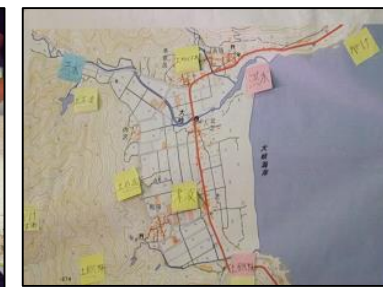
午後2時から3年から6年までの児童と保護者、地域の方を対象に講演をしていただきました。まず地形図の見方について説明していただき、その後、以布利地区、大岐地

区、清水市街地の3地区の地形図をもとに、「土佐清水の危険な地形を探してみよう」と題して、児童と保護者が一緒になってワークショップを行いました。



地形図をもとに起こる可能性のある災害名などを付箋に書き、地図上に貼り付けていきました。「土砂崩れ」「洪水」「津波」「土石流」などいろいろな危険があることが分かりました。

作り上げたものは、校舎内に掲示しています。今度、来校の際に、見てください。身近にいろいろな危険があることが分かります。



自分たちが作った「土佐清水の危険な地形」を各グループが発表しました。このような作業を通していろいろな危険がいろいろな所にあることがよく理解できたのではないのでしょうか。

## 令和2年度後期児童会役員 決まる！！

- 【児童会長】 松本 新史くん (6年生)
- 【副会長】 西村 光三郎くん(6年生) 安田 光来くん(5年生)
- 【書記】 伊沢 惇くん(6年生) 山崎 栞奈さん(5年生)



選挙管理委員会から本物の投票箱を借りてきました。

10月28日、令和2年度幡陽小後期児童会役員選挙立会演説会並びに投票がありました。その結果、上記の子どもたちが役員となり、児童のみんなを引っ張っていってくれることになりました。それぞれが演説で言ったこと(公約)を果たすことができるよう、頑張ってくれると思います。よろしくお祈りします。

